

# 広報 町

### 主な目次

- 大洲消防署川上支署業務開始……2～3 ページ
- 大野町長がねたきりのお年寄りを訪問……4 ページ
- 最優秀賞に岡山俊司君……4 ページ
- みんなの願い交通安全……5 ページ
- 郵便貯金で住みよい社会を……5 ページ
- お知らせ……6 ページ



交通安全を願ってパレードする中野小学校鼓笛隊

10月号

今年五月二日付を以つて大洲地区広域消防事務組合に加入し、当町にも常備消防が発足していたところですが、本格的な業務開始は、職員教育訓練や庁舎建設を待つて行なうことになつていました。

この度庁舎も概ね完成し、また職員教育(六ヶ月)も終了したので去る一〇月一日、肱川町公民館において川上支署の開庁式を行い、実質的に業務を開始しました。

そこで従来役場で扱つていた火事と救急は全て消防署(電話一一九番)で受付けることになりました。

### 都市化した生活環境

士気旺盛な消防団(山内団長以下二三七人)を有する上、過疎の山村に「常備消防」を配置することについて、一般的に疑問視される向きもあるかと存じます。

しかし、近年の社会情勢の変化は、田舎を過疎化に追いやつた反面、モータリゼーションの発達には田舎をも生活様式の変革の波に乗せ、一部を除き、都市と田舎の差を無くしてしましました。

そうした社会情勢の中で当肱川町民の生活も、足は車に、燃料は油、家は新建材、はたまた農作業を見ても、小は草刈機から大はトラクターと身の回りは近代化されております。

しかしスピードアップ、大型化された身の回りはそれだけ危険が増大したことにもなります。

### 予防

そこで、この様に複雑多様化した現在の生活環境の中で火事や事故を未然に防ぐには、やはり予防の専門家の存在が必要となりました。

### 救急

そのことは救急業務についても言えます。

モータリゼーションの発達

は、道路改良へも力は加わりませんが、一方、改良された道路は車の洪水化へもつながります。

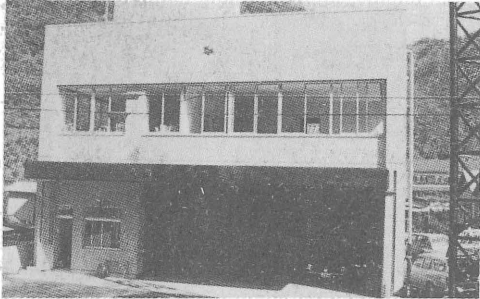
そして必然的に車の事故も増えることとなります。

また、過疎化、利己主義等による善隣関係の崩壊、医師の休日・夜間の休診は、救急搬送需要の増大と救急搬送の遠距離化となつております。

そのため、遠距離化による時間の経過と休日、夜間等の医師不在による重度病人の恐れ等から救急車の現場到着時や、搬送中の応急措置は重要となり、専門的技術が必要不可欠となつてい

### 消火

消火活動においても、団員の有職化による昼間の町外流失は社会の流れであり仕方のない事ではあります。若千手不足の



新装なった川上支署

### ごあいさつ

川上支署長 森本 屹



去る十月一日 者として職員一同決意をあらた大洲消防署川上支所の開庁に伴い、支署長に就任いたしました。森本屹でございます。

町民の皆様にはましてもつて立派な庁舎、装備を設置して載せましたことに対して厚くお礼申し上げます。

このご期待にお答えすべく皆様の安全の担い手となり、奉仕危険性も認められるところです。

現在は団員の訓練による質の向上や機械器具の近代化で補なつておりますが、将来への補償はあると言えません。

### 大洲市・喜多郡 はひとつ

こうした中で「消防署」の設置は検討されました。

先ず、町単独での設置——これは財政的にまた、認可の上で不可能であると判断されました。

それから、郡内での未加入村河辺村との関連、組合を結成している大洲市及び郡内他町の考え方を検討した結果、河辺村は救急で非常に困つて居ること、また、組合結成の市町も快よく受入れて来れる用意がある事が判り、併せ、昭和五三年四月

### 隊員は九人

そして、一〇月一日、別記のよう、九人の隊員と近代的な装備を以つて業務を開始いたしました。

しかし、二四時間勤務の二交代替制ですから、当務する隊員は昼間で五人、夜間で四人の少数であり、救急業務を中心とす



# 大切にしたい心のつながり

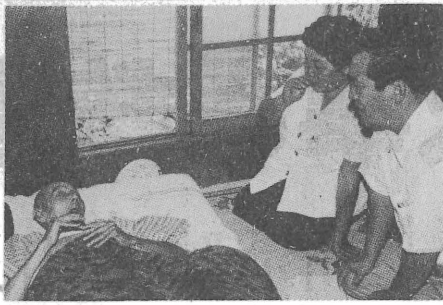
## 大野町長がねたきりの おとしよりを訪問

九月一日は「敬老の日」そして、その前後は老人福祉週間という事で、今年も各地で多彩な行事が行われました。

町内では、特に九月一日に全地区で敬老の日にちなんだ催しがありました。

正山・岩谷地区では公民館、婦人会主催の「敬老会」また大谷、中野、予子林、中津地区では、老人クラブ主催の「敬老の日祝賀集会」が開かれ、どの会場も、本当に心のなごむ、にこやかなふれ合いがいっぱいありました。

一方、九月一日と二〇日には、大野町長が「ねたきりのお



おじいちゃんどうですか…楽しい語らいのひと時

55総体まであと二八四日。来年八月に鹿野川湖で開かれる全国高校総合体育大会漕艇競技のポスター審査が、一〇月八日に公民館で行われました。これは、55総体実行委員会が大洲市・喜多郡内の高校生と脳川中学生から募集したもので、六九点の応募がありました。審査は、実行委員と大洲高校

としより」を訪問いたしました。町内には現在「ねたきりのおとしより」が一人おられます。その中には、もう一一年間も全くのねたきりで、自分のことが一切出来ないというおとしよりとして、その人を介護している奥さんは、二〇才の時に嫁いで来てから今日まで、おとしよりの世話と育児の明暮れで、一年間も外に出たことがないとい、またその他にも、社会の片隅で、近隣との断絶、孤独、病苦とのたたかい等多くの苦難に耐えながら生きているおとしよりとその家族が数多くあります。

## 最優秀賞に岡山俊司君

### 55総体漕艇競技ポスターコンクール

55総体まであと二八四日。

来年八月に鹿野川湖で開かれる全国高校総合体育大会漕艇競技のポスター審査が、一〇月八日に公民館で行われました。

これは、55総体実行委員会が大洲市・喜多郡内の高校生と脳川中学生から募集したもので、六九点の応募がありました。審査は、実行委員と大洲高校

かし参加したくとも出来ないこのような方々と、社会がどう心を結ぶか。福祉の原点も実はここにあり

大野町長は、このようなおとしよりとその家族の方々に接し心をかよわせた。

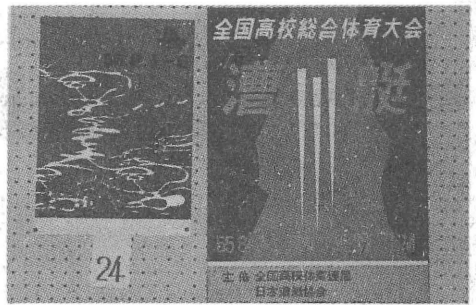
そして、この社会が、決して健康で活動出来るものだけでなく、さまざまな障害をもつ人々と共にあることを伝えたい。

そして、少しでも励ましになればと、この訪問を企画されました。町内にも、病氣や所得のことなどさまざまなことで悩み、苦しんでいる人々が沢山います。

そして、それに対応する行政の施策や制度もあります。しかし、それだけでは救うことは出来ません。

それは、人間は本来、心のつながりなくしては生きていけないからです。

の美術担当の先生ら六人で行われ、慎重審議の結果、中津部落の岡山俊司君（大洲高校脳川分校二年生）の作品が、緑に囲まれた鹿野川湖の特徴をすつきりしたデザインで描いており、最優秀賞に選ばれました。この作品は、ポスターに印刷され全国の参加高校に配布されます。



42番が岡山君・24番は井上さんの作品

また、井上弥生さんの作品は55年総体漕艇競技プログラムの表紙に使われ、来年八月に選手役員等に配られます。

この他の入選者は次のとおりです。

### 入選者

○最優秀賞 岡山俊司 大洲高校脳川分校

○優秀賞

片神勝也 大洲高校

畦田智志 大洲高校

井上弥生 長浜高校

智葉 豊 大洲高校脳川分校

○佳作

中野 一 大洲高校

石崎仁志 大洲高校

山本美智代 長浜高校

矢野元治 長浜高校

石井敦子 長浜高校

下石雅樹 脳川中学校

山内奈津恵 脳川中学校

### 集音マイク

○「地震、雷、火事、息子」には含まれていないが「台風」二つ来襲。台風十二号本県を直撃。さいわい、農作物には恵みの雨。(9/4)

台風十六号室戸へ上陸。直撃は免れたものの、稲、粟等に若干被害。(9/30)

○「脳川消防」の心意気を発輝当町第五分団(予子林)が、小型ポンプの部で初優勝。県大会へ。選手団員のご健闘に声援を送ろう。(9/5県消防操法大洲喜多地区大会)

○当町の六五才以上の人は、昭和三五年には五四二人(総人口に占める割合八・四%)であったが、四五年には五七二人(同一二・五%)となり、四四年には六三八人(同一五・七%)と着実に増加。

全国では、五五年には八・九%、二〇年後には、一四・三%と推計されており、当町では、すでに高齢化社会到来といえる。

四〇・五〇は花なら つばみ

七〇・八〇は花ざかり……

「自分らで長寿を祝おう」と老人クラブ主催で祝賀会や、公民館、婦人会等主催の敬老会を町内各地で開催。(9/15敬老の日)

# みんなの願い交通安全

## 青年団が自作の注意板を設置

秋の全国交通安全運動が、九月二二日から一〇日間行われま

した。この期間中町内でも、交通茶屋の開設、安全注意板の設置、鼓笛隊のパレード、街頭指導などが行われ、交通安全を呼びかけました。

ところで農繁期も峠をこし、秋まつりのシーズンになりました。これからはお酒とつきあう機会も多くなりますので、一人ひとりが気をつけて安全運転に努めましょう。

## 交通茶屋店開き

交通安全協会婦人部は、国道



高砂で行われた交通茶屋

一九七号線高砂に、九月二九日交通茶屋を店開きしました。

青年団員も手作りの「折りゾル」をドライバーたちにプレゼントし、交通安全運動を呼びかけました。

通りがかったドライバーたちも、婦人部のあめやお茶のサービスにおもわずニッコリ。車から降りて体操をする姿もみられました。

時折小雨の降るなか、ドライバーの一人一人に「気をつけて安全運転をしてくださいね」と交通安全を呼びかける婦人部の方たちに、「ドライバーも、「どうもありがとうございます」「ごころうさ

## 郵便貯金で住みよい社会を

### 肱川町へは三億円を融資

みなさんから広く御利用いただいている郵便貯金は、本年七月末の現在高が全国で四七兆円を超える大きな金額となっております。

みなさんからお預りした郵便貯金は、大蔵省資金運用部を通じて地方公共団体等に融資されていますが、肱川町に対しても三億七千万円が融資されており、農林業・中小企業の振興、道路の建設、文教施設の充実に

ん——と安全運転を約束してました。尚、茶屋のテントは、大谷の小川ウメヲさんからの寄附により作ったものです。

## 安全注意板を設置

肱川町青年団では、九月二二日、町内各所に自作の交通安全注意板を設置しました。

これは、交通安全に少しでも役立てばと、団員が自作したもので、ユニークな絵や標語で交通安全を呼びかけています。



安全注意板

## 一〇月「中高年齢者雇用促進月間」

労働人口の高年齢化がすすみ、就職を希望する中高年齢者は次第に増加していますが、最近の厳しい経済情勢下では、その再就職は極めて困難な状況です。そこで、国や県では、企業の一層の理解と協力を得るとともに、広く県民の理解と関心を高めるために、一〇月を「中高年齢者雇用促進月間」と定めて、次の行事を実施し、中高年齢者を雇用する機運をつくり出していきます。

町内の中高年齢者は殆んど自営か企業で働いておられるように思いますが、もし、就職を希望される方がありましたら、大洲公共職業安定所へ気軽にご相談下さい。

### 県の主な行事

- 中高年齢者雇用優良事業所の労働大臣表彰の伝達及び知事表彰。
- 中高年齢者雇用問題セミナーの開催。
- 中高年齢者雇用率制度の達成指導。
- 事業主に対する各種雇用保護制度の周知。
- 中高年齢者を対象とする特別求人開拓の実施。

### 一口医学

## 鼻血が出たときは

あわてないこと——鼻血が出たら落ち着いていすにすわり、鼻をつまんでアゴをひき、口で息をして安静にします。

鼻から額にかけてぬれタオルで冷やすのもよい。

鼻をかまないこと——鼻血が出ている間は、話したり笑ったり鼻をかんだりしないように。止血してもしばらくは強く鼻をかまないこと。

脱脂綿、チリ紙をつめないこと。脱脂綿は繊維が鼻の中に残り、キズ口がふさがらず再出血するおそれがあるし、チリ紙は化膿する原因になりやすい。

なかなか止まらないときは、清潔なガーゼを、軽くつめて、外から指で押えるとよいでしょう。

うなじをたたかないこと——よく鼻血があるとうなじをたたか人がありますが、効果がなばかりか、脳の真下をたたくことになるので危険。軽視しないこと——たびたび鼻血の出る人、とくに中年すぎの人の鼻血は要注意。検査を受けましょう。

# 未知の世界への挑戦

## アマ無線技士養成講習会

アマチュア無線技士になつて空で仲間との交流を楽しみたいという人が、ここ数年の間に急激に増え、その仲間は老若男女を問わず、町内にも七〇人余りのアマチュア無線技士がおられます。

未知の世界へのあこがれ、それにはまず電話級か電信級のアマチュア無線技士の資格をとることです。

資格をとるには二つの方法があり、その一つは郵政省が行っている国家試験に合格すること、もう一つは「日本アマ無線連盟」が郵政省の認可を受けて行っている「養成講習会」を受講して、修了試験に合格することです。

ついては、この養成講習会が次により行われますので、希望者は受講してください。

○日程 十一月五日～二十五日(木曜日を除く)

### 人の動き

人口	4,071人(±0)
男	2,009人(-3)
女	2,062人(+3)
世帯数	1,110世帯(+1)
9月中の異動	{ 出生3、死亡4 } { 転入8、転出7 }

(昭54. 9. 30現在)

- 時間 毎回午後六時三〇分～九時三〇分
- 場所 肱川町公民館
- 修了試験 十一月二六日
- 受講料 一人 一万円
- その他 申し込み、問い合わせ

## 秋の道路愛護デーは

省エネ時代の到来とはいへ、車は相変わらず人の足や肩に代つて、生活に密着しております。

道路の整備は、新設から改良舗装へと移行しており、維持管理費の節減と車の省エネ化に寄与しております。

しかし、町内のおよそ二二四キロという膨大な道路網のうち、舗装済みの延長は、僅か四四キロ(約二〇%)です。

八割を占める砂利道の路面整備は、グレーダーの運行で対応しておりますが、まだまだ不十分な状況です。

そこで、年二回実施している道路愛護デーは、町道のすみずみまでの整備に大きく貢献しております。

秋の道路愛護デーを十一月四日に実施いたします。

お忙しい時期ですが、ご協力をお願いいたします。

重点目標

- ・支障竹木の除 (竹に栗の枝)

わせは至急「写真の堀」へ(電話二二〇六番)

この講習会は、今回をもって四回五年肱川町では行われない予定です。

## 二月四日

- ・廃車の撤去
- ・側溝、路面の整備

## 福祉年金の支払は 一月二日から

今年二月支払期分(八月～十一月)の支払が、一月二日から始まります。

定時届のため年金証書は預かっておりますので、指定郵便局において「年金証書保管証」と引き替えに年金証書を受け取り、年金の支払を受けてください。

なお、肱川郵便局を指定されている方には、役場の窓口で年金証書をお渡しします。

## お気軽にご利用ください

国民年金受給者が増えるにつれ、国民年金に関する相談も増えてきました。

そこで、国民年金相談所を次により開設いたします。

国民年金についてわからないことがある方、くわしく知りたい方はお気軽にご利用ください。

## ◆心配ごと相談◆ “お気軽に相談所へ”

◎相談時間 各相談日とも9時～16時

◎相談場所 町公民館心配ごと相談室 (肱川町社会福祉協議会)

相談日	担当相談員
10月25日	下石、楠野
11月5日	中野、堀尾、福田
11月15日	谷本、佐久保
11月25日	山中、宮本

相談員の自宅相談も受けけます

二二時～一五時 肱川町公民館

ところ 肱川町公民館  
担当 松山社会保険事務所 年金担当官

### 今月の税金

- 国民健康保険税 (6)
- 町・県民税 (3)

### ○行政相談

とき 十一月五日

ところ 九時～一六時 肱川町公民館  
担当 行政相談委員 福田 保

### ○人権法律相談

とき 十一月五日

ところ 一〇時～一五時 肱川町公民館  
担当 法務局職員 人権擁護委員 都谷文雄 飛野虎生

○乳児健康相談 十一月二六日

### お誕生おめでとう

- 藤之原 石河是忠さん 三男 享介ちゃん
- 藤之原 藤田幸男さん 長男 智志ちゃん
- 下鹿野川 和気俊次さん 二女 紀枝ちゃん

ごめいふくをお祈りいたします。

- 見の越 富永造衛衛さん
- 白石 三好朋義さん
- 中居谷 上野タカエさん
- 山本瀧蔵さん

